

# 194F

(韓国方式)TV音声多重IF変調器

ビデオ・音声信号発生器、多重信号発生器



## 用途

本装置は、韓国方式の音声多重装置の音声中間搬送波のみを送出するTV音声多重変調器です。本装置194Fと107A TV送信機を組合せる事によりTV生産工場における受像器試験用韓国方式音声多重TV送信装置として使用出来ます。

## 特長

- ・音声多重変調部と音声IF変調部を一体化し、独特の高周波マトリクス回路を採用しておりますのでステレオセパレーションの変化がありません。また特性面でも優れた信号対雑音比特性を有しております。
- ・パネル面操作はすべてリモートコントロール可能でご希望により標準リモートコントロールに換えてGP-IBコントロールする事も可能です。(オプション)

## 構成

本体	1
寸法	425(W)×99(H)×380(D)mm (突起物を含まず)
質量	約15kg
付属品	電源ケーブル(3ピン→2ピン変換含む) .....1 ラックマウントアダプタ .....1 取扱説明書・試験成績書 .....1部 リモート端子プラグ .....1(GP・IB時は除く)
電源	入力電圧許容範囲 AC100V,AC120V,AC220V,AC240V 切換式(50Hz/60Hz)
消費電力	約50VA
使用環境	温度 +5℃～+40℃ 湿度 45%～85%RH (結露のないこと)

## 定格

- ・方式 CCIR M方式
- ・出力周波数 第一音声キャリア S<sub>1</sub> 41.25MHz又は、34.40MHz  
第二音声キャリア S<sub>2</sub> 41.0257873MHz又は、34.175787MHz
- ・音声信号入力レベル CH1 (M<sub>1</sub>又はL) 0dBm  
CH2 (M<sub>2</sub>又はR) 0dBm  
にて動作可能
- ・音声信号入力インピーダンス CH1、2共に600Ω平衡
- ・内部変調用発振器 CH1、2共に100Hz、400Hz、1kHz、3kHz、7.5kHz、10kHzの1波による変調が出来る。
- ・出力レベル 192Fに準ずる。
- ・出カインピーダンス 50Ω 不平衡
- ・変調方式 バリキャップ変調APC方式
- ・変調度 S<sub>1</sub>.....±25kHz  
S<sub>2</sub>.....±25kHz  
パイロット信号±2.5kHz (モノ出力時)

## パイロット判別信号

キャリア周波数	55.069kHz (3.5f <sub>H</sub> )
ステレオ時	149.9Hz (f <sub>H</sub> /105) 50%AM変調
2サウンド時	276.0Hz (f <sub>H</sub> /57) 50%AM変調
モノラル時	無変調

## プリエンファシス

75μs

## 変調モード切換

ステレオ、2サウンド、モノラル、リモート切換リモート時、リモート接点渡して切換が出来る。

## 性能

### 音声周波数特性

標準プリエンファシス特性に対して±0.5dB以内 (50Hz～15kHz)

### ひずみ率

30Hz～15kHzにて0.25%以下

### 信号対雑音比

2サウンド時 65dB以上  
ステレオ時 60dB以上

### 周波数精度

±5×10<sup>-5</sup>以内

### スプリアス

S<sub>1</sub>のレベルに対して  
高調波 -50dB  
インターモジュレーション -60dB  
その他 -60dB

### クロストーク

2サウンド時 -60dB以下  
ステレオ時 (セパレーション) -40dB以下  
(5kHz迄)